

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
部 長	萩野 惠三
医 長	森山 泰成
医 長	西澤 哲
医 員	佐々木 有見子

—概要—

2015年はスタッフの異動はなかった。佐々木医師は2013年8月から産休後育休を継続しており、実質3名で業務を担当した。

2015年の泌尿器科外来患者数は1日59名、診療実日数は242日/年、外来患者数はのべ14,351人/年であった。入院患者数は636名/年(内訳:男性519名 女性117名)であった。泌尿器科の病棟ベッド数は2015年から1床増えて、18床である。当科で2015年に施行した手術の詳細は以下の表を参考にさせていただきたい。主な手術は膀胱全摘除術+回腸導管造設術12件、腹腔鏡手術(副腎、腎、腎尿管)8件、根治的前立腺全摘除術55件、経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-Bt)104件、経尿道的尿管結石砕石術(TUL)86件などであった。

泉州地域における泌尿器科診療の基幹施設として、数多くの手術実績を地道に積み重ねていくことにより、地域社会に貢献していきたいと考える。

—今年度の成果と反省点—

2008年から8年連続で入院患者数の増加傾向が続いており、このことは泉州地域における泌尿器科診療の需要が増加しつつある証である。

しかし、実質3名でこの施設規模の手術と病棟管理を行っていくことが困難となりつつあり、医師定員増へ向けての不断の努力が必要である。

—来年度への抱負—

引き続き泉州地域での旺盛な泌尿器科診療の需要にしっかりと応えていきたい。

—実績—

<手術件数>
一般的な手術

	2013	2014	2015	平均
① 副腎、腎、後腹膜の手術 ()内は腹腔鏡下・腹腔鏡下小切開・ロボット支援での例数				
副腎摘除術	0(1)	0(3)	0	0(1.3)
単純腎摘除術	2(0)	1(1)	1(0)	1.3(0.3)
根治的腎摘除術	3(5)	4(8)	5(6)	4(6.3)
腎部分切除術	5(0)	2(0)	3	3.3(0)
腎尿管全摘除術	15(0)	9(0)	9(1)	11(0.3)
腎盂形成術	1(0)	0(0)	0	0.3(0)
経皮的腎瘻造設術	0	0	3	1
後腹膜リンパ節郭清術	0(0)	1(0)	3	1.3(0)
② 尿管、膀胱の手術 ()内は腹腔鏡下・腹腔鏡下小切開での例数・ロボット支援での例数				
経尿道的膀胱腫瘍切除術(TURBT)	98	80	104	94
経尿道的膀胱砕石術	11	18	11	13.3
経尿道的膀胱異物除去術	0	1	1	0.6
経尿道的尿管結石砕石術(TUL)	57	87	86	76.6
膀胱瘻造設術	0	0	1	0.3
膀胱部分切除術	10(0)	5(0)	4	6.3(1.3)
膀胱全摘除術	14(0)	6(0)	12	10.6(0)
膀胱水圧拡張術	0	1	1	0.6
③ 前立腺、尿道の手術				
経尿道的前立腺切除術 (TURPおよびレーザー手術を含む)	51	25	36	37.3
前立腺被膜下摘除術	2	1	7	3.3
開腹前立腺全摘除術	35	50	55	46.6
腹腔鏡下前立腺全摘除術	0	0	0	0
ロボット支援前立腺全摘除術	0	0	0	0
経尿道的内尿道切開術	4	6	1	3.6
尿道拡張術	3	2	8	4.3
④ 陰嚢内容臓器、陰茎の手術				
精巣固定術	2	8	3	4.3
精索捻転手術	2	2	2	2
精巣摘除術 (高位精巣摘除を含む)	7	13	4	8
陰嚢水腫根治術	9	6	6	7
その他の陰嚢内容および陰茎の手術	20	13	30	21

専門的な手術

	2013	2014	2015	平均
① 腎移植・透析関連の手術 (開放及び腹腔鏡手術を含む)				
	0	0	0	0
② 小児泌尿器関連の手術 (精巣固定術を除く)				
	0	0	0	0
③ 女性泌尿器関連の手術				
	3	0	0	1
④ ED、不妊関連の手術				
	0	0	0	0
⑤ 結石関連の手術				
	163	143	105	137
⑥ 神経泌尿器・臓器再建関連の手術				
	18	7	0	8.3